

## 事例24 車いすで移動中、床を踏み抜く

### 1 災害の概要

項目	内容
介護労働者	経験9年、40歳代の女性
作業	移動作業
災害の型	踏み抜き
起因物	床
傷病	右足首の捻挫
災害の程度	不休災害



### 2 発生状況

介護労働者が、利用者を病院へ移送するため、ベッドから車いすに移乗し、木質の廊下を移動中、床面を踏み抜き右足首を痛めた。診断の結果、捻挫と診断されたが、休業災害にならなかった。

### 3 原因

- (1) 利用者宅の床が老化し腐食していた。
- (2) ひび割れ・腐食していたが、車いすを確実に通過させることに気をとられ、腐食している部分を踏んでしまった。
- (3) 普段歩いている踏み抜くとは思っていなかった。

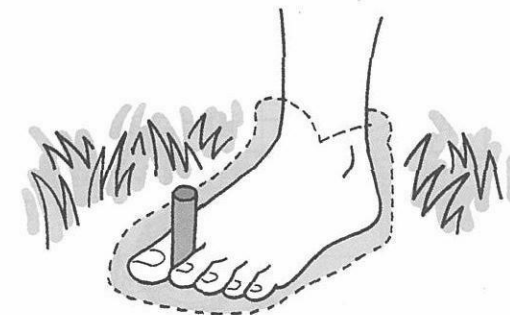
### 4 対策

- (1) 事業者
  - ① 各利用者宅の設備上の問題点等を把握し、状況により利用者宅に改善を求める。又は、介護労働者が対応できるよう指示を行う。
  - ② 安全意識高揚の教育（KYT—危険予知訓練の導入等）を行う。
- (2) 介護労働者
  - ① 他の通路があればそちらを通過する。
  - ② 床板の幅を広くし、安全に通過できるよう補修を依頼する。
  - ③ 床板の腐食について利用者宅に報告し改善を求める。

## 事例25 庭の歩行中にアース棒を踏む

### 1 災害の概要

項目	内容
介護労働者	経験3年、20歳代の男性
作業	掃除作業
災害の型	踏み抜き
起因物	アース棒
傷病	右足親指の刺傷
災害の程度	2ヶ月の休業災害



### 2 発生状況

介護労働者が、利用者から頼まれたゴミ出しをする際に、集積所までの近道である雑草の生えている庭を通ったところ、長さ6cmほど出っ張っていたアース棒を踏み、アース棒が靴底を貫通し、右足の親指付け根を刺傷した。

### 3 原因

- (1) ゴミの量が多かったため近道をし、普段と違う通路を通った。
- (2) 利用者宅の庭であるため、歩行時の障害物に対する注意力が働かなかった。

### 4 対策

- (1) 事業者
  - ① 庭等の介護作業スペース以外の所は立ち入らないよう注意喚起する。
  - ② 安全意識高揚の教育（KYT—危険予知訓練の導入等）を行う。
- (2) 介護労働者
  - ① ゴミをこまめに出し、近道を使わないですむ量に抑える。
  - ② 住宅環境については、すべてに確認する動作を習慣づける。
  - ③ 近道を使わない。